

4月の野菜の見通し

令和2年3月31日現在
山形県東京事務所

区分 品目	入荷量(t)			単価(円/kg)			山形県産前年実績		コメント
	前年実績	平年比 見込	5カ年 平均	前年実績	前年比 見込 (%)	5カ年 平均	前年 入荷量※ (t)	前年 占有率 (%)	
だいこん	9,982	平年 並み	10,744	96	83%	100	0	0%	千葉県産の出荷は前進傾向で、数量は平年並み。 神奈川県産も前進しており、品質低下が見られ、残量は少ない。 全体の数量は少なかった前年並みだが、不足はなく厳しい販売展開。
はくさい	6,400	平年 並み	6,105	74	101%	103	0	0%	入荷はほぼ茨城県産。3月の数量は予想外に伸び悩んだが、生育が良好なことから回復の見込み。温暖で需要が落ち込んでいるため、中旬頃には相場下落が予想される。
キャベツ	19,054	平年 並み	18,731	90	89%	108	0	0%	神奈川県、愛知県産ともに生育が前進傾向だが、数量は平年並み。春商材として販売はまずまずと見込むが、寒玉は業務需要の減退で荷動きが鈍い予想。
ほうれんそう	1,299	平年 並み	1,192	425	99%	505	0	0.1%	数量は、豊作だった前年と同水準。 3月中下旬は彼岸需要や冷え込みによる数量減少で高値相場となったが、4月中旬には数量増加とこれまでの高値反動から軟調に転じる見込み。 販売は業務・加工用よりも量販店主体であるため、荷動きは悪くない。
ねぎ	3,711	平年 並み	3,639	268	90%	321	5	0.1%	生育は順調で太物が多い。業務・加工用需要が減少しており、荷動きの悪い状況が続く。 下旬には初夏ねぎが入荷、単価が底上げされる見込み。

4月の野菜の見通し

令和2年3月31日現在
山形県東京事務所

区分 品目	入荷量(t)			単価(円/kg)			山形県産前年実績		コメント
	前年実績	平年比 見込	5カ年 平均	前年実績	前年比 見込 (%)	5カ年 平均	前年 入荷量※ (t)	前年 占有率 (%)	
きゅうり	7,339	平年 並み	7,199	229	109%	271	6	0%	埼玉県、群馬県産はピークを迎え、宮崎県、高知県産も増加する。全体の数量は平年並み。入荷の数量が落ち着いていた3月から変わって、荷動きの鈍い状況が続く見込み。
トマト	7,288	平年 並み	7,528	360	100%	377	2	0%	熊本県産は最盛期を迎え、これまでより数量増加。愛知県産は植え替え策の春タイプが増加。栃木県、千葉県産も増加し、全体の数量は平年並みの見込み。入荷数量が落ち着いていた3月から変わって、4月は十分な数量が見込まれることから、中旬以降の相場は弱めに推移する見込み。

引用資料:「東京都中央卸売市場における野菜の品目別取扱実績」(青果物情報センター)、「野菜の生育状況及び価格見通し」(農林水産省)、「野菜の入荷・市況見通しについて」(東京青果株)

入荷量について:平年並とは、平年との比率が80%以上、120%未満であることを示す。「0」はラウンドして1tに満たない入荷があったもの。「-」は本県のデータがないもの(入荷がないか、又は少なかったためにその他の産地に含まれる)